

二祖真教上人七百年御遠忌 平成31(2019)年

前回から連載が始まった「二祖真教上人700年御遠忌」の第二話です。

さて前号では、ご遠忌の意味と真教上人のご生涯を簡単にご説明させていただきました。その真教上人のご遠忌は2019年10月に、時宗総本山にて5日間お勤めされる予定です。今回は、そのご遠忌に向けて先行開催される法要『有縁の地法要』(同封したチラシ)を、ご説明させていただきます。 *マークの解説が、別紙にあります。

●平成30年9月16日：神戸 真光寺

真光寺は当寺院から歩いて2分という場所にありますが、このお寺は時宗の教祖(宗祖)である一遍上人が遷化(亡くなること)され、その御廟(お墓)が現存する聖地です。そして真教上人が宗祖一遍上人を看取り茶毘に付し、時宗の二代目の教祖として新たな遊行(布教の旅)を始められた、真教上人の一大転機とも言える地でもあるのです。この日は、真光寺で毎年行われている『宗祖一遍上人のお命日(御忌)法要』と合わせて「真教上人御遠忌法要」が開催され、総本山の僧侶による*踊躍念仏(踊り念仏)を御廟前で奉納し、その導師として遊行第74代真円上人がご来寺されます。

●平成30年10月14日：福井 敦賀 来迎寺・氣比神宮

上記の真光寺で一遍上人を看取り、後継者として時宗(時衆)教団確立に乗り出した真教上人が淡河(現・神戸市北区)を通り、まず向かったのは北陸越前国(現・福井県)でした。そして一遍上人がまんべんなく全国を遊行されたのに対し、真教上人は主に北陸と関東及びそれを結ぶ甲信地方を何度も遊行し重点的に布教活動を行いました。そのためこの地では真教上人所縁のお寺が多く、またこの法要が行われる来迎寺や氣比神宮は今なお新しい「お上人」が就任した場合、二祖真教上人を体得する有縁の地として、その新しいお上人が必ず訪れなければならない場所となっています。

●平成31年3月27日：神奈川 当麻 無量光寺

一遍上人は51才という若さで遷化されましたが、真教上人は83才で遷化されています。ただし一遍上人のようにその生涯を遊行の中で終えられたのではなく、高齢ということもあり途中でその遊行を3代目に譲ることになりました。そしてお寺に定住する(独住)ようになりますが、その定住されたお寺がこの無量光寺になります。真教上人はここで遷化され、今もその御廟が境内に残っています。

来年の10月に当寺院では、総本山への団体参拝を検討しています。その際は是非参加していただくと共に、それまでにある上記のような法要、特に9月16日に行われる真光寺法要は近隣でもあることですし、現在の時宗遊行上人もご来寺され*御賦算(念仏札をいただくこと)もございますので、是非とも参加されてみてはいかがでしょうか。

お彼岸が過ぎても気を抜かず、体調管理には十分お気を付け下さい。

とにかく昼夜問わず、クーラーで温度管理をしましょう！ お水をこまめに飲みましょう！

こんな症状があったら 熱中症を疑いましょう

軽

めまい
立ちくらみ
筋肉痛
汗がとまらない



中

頭痛
吐き気
体がだるい(倦怠感)
虚脱感



重

意識がない
けいれん
高い体温である
呼びかけに対し返事がおかしい
まっすぐに歩けない、走れない



〔編集後記〕 前回のお盆号を送付した直後に起こった大阪を震源とした地震や大雨による各地での土砂災害、神戸を襲った台風 20 号、今年は関西を中心に自然災害が頻発しています。しかもそれが年々、規模が大きくなってきているような気がします。『備えよ常に』、身も心も。 合掌



当寺院の本堂での葬儀は、この不動心が届く檀信徒様からのご紹介であれば、どなた様でもご利用していただくことができます。

* 本堂の使用料は、無料です。詳細はご遠慮なくお問合せ下さい。

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町 4 - 1 - 29

電話 078 - 671 - 1787 ファックス 078 - 330 - 1187

ホームページ <http://fusyoin.com/>



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげてください。